

中央社会保険医療協議会 診療報酬基本問題小委員会（第34回）  
議事次第

平成15年7月30日（水）  
厚生労働省専用第22会議室（18F）

議題

診療報酬体系について

IT化について

その他

診療報酬体系の変遷について

区分	昭和33年	昭和45年	昭和47年	昭和60年	昭和63年	平成4年	平成6年	平成12年	
昭和33年 新医療費体系									
甲表 (①物と技術の分離、②技術の尊重、③事務簡素化を基本方針として設定したもの)						平成6年 甲乙点数表の一本化			
乙表 (新医療費体系前の点数表をもとにしたもの)									
基本診療料	診察料	初診時基本診療料					初診料		
		再診時基本診療料					再診料		
	入院料	入院時基本診療料		室料		入院環境料		入院基本料	
				看護料		看護料			
		入院時医学管理料							
						昭和59年 特定入院料 (救命救急入院料等)			
								短期滞在手術料	
特掲診療料	往診及び療養上の指導等 検査 レントゲン診断 投薬 注射 理学療法 精神病特殊療法 処置及び手術	往診及び療養上の指導等 検査 レントゲン診断 投薬 注射 理学療法 精神病特殊療法 処置及び手術 麻酔	往診及び療養上の指導等 検査 レントゲン診断 投薬 注射 理学療法 精神病特殊療法 処置及び手術 麻酔	往診及び療養上の指導等 検査 画像診断 投薬 注射 理学療法 精神病特殊療法 処置及び手術 麻酔 放射線治療	療養上の指導等 在宅療養 検査 画像診断 投薬 注射 理学療法 精神病特殊療法 処置 手術 麻酔 放射線治療	療養上の指導等 在宅療養 検査 画像診断 投薬 注射 リハビリテーション 精神病特殊療法 処置 手術 麻酔 放射線治療	指導管理等 在宅医療 検査 画像診断 投薬 注射 リハビリテーション 精神科専門療法 処置 手術 麻酔 放射線治療	指導管理等 在宅医療 検査 画像診断 投薬 注射 リハビリテーション 精神科専門療法 処置 手術 麻酔 放射線治療	
老人医療	昭和58年 老人診療報酬体系 基本診療料 特掲診療料								

(注) 基本診療料：診察、入院に係る基本的な診療行為を一括して評価したもの  
特掲診療料：基本診療料として一括して支払うことが適当でない特殊な診療行為を評価したもの

(注) 表中の区分は、甲表に基づいたもの

## 老人診療報酬について

昭和58年 老人診療報酬の設定（老人保健法の制定）

（老人の心身の特性にふさわしい良質な医療の効率的な提供、老人医療費の合理化・適正化を推進する目的）

- 老人の心身の特性に配慮
- 不必要な長期入院の是正と地域や家庭における医療への転換の促進
- 日常生活についての指導重視の医療の確立
- 老人を主として収容している病院における適正な診療報酬の設定による医療の適正化

生活指導管理料、入院時医学管理料の逡減の細分化  
退院患者継続看護・指導料、老人デイ・ケア料  
点滴注射料の包括、老人検査料（特例許可老人病院）等の新設

昭和61年 寝たきり老人に対する計画的な訪問医療と医学管理の評価  
【寝たきり老人訪問診療料】

昭和63年 痴呆性老人に対するケアの評価  
【重度痴呆患者デイ・ケア料】

平成2年 介護力を従来より強化した病棟において看護、検査、投薬、注射を包括評価  
【特例許可老人病院入院医療管理料】

平成4年 かかりつけ医による計画的医学管理のものの在宅医療を評価  
老人慢性疾患生活指導料、投薬、検査を包括  
【寝たきり老人在宅総合診療料】

平成6年 在宅による終末期医療の実施を評価  
【寝たきり老人末期訪問診療料】

平成8年 老人慢性疾患患者の外来医療を包括評価  
老人慢性疾患生活指導料、検査、投薬、注射を包括  
【老人慢性疾患外来総合診療料（平成14年で廃止）】

平成12年 一般病棟における3ヶ月以上の入院を包括評価  
【老人一般病棟入院医療管理料】

## 老人診療報酬の特徴について

### ○長期入院の是正を目指し、地域や家庭への復帰を評価

- ・一般病棟の入院基本料において一般医療と異なる逓減の程度を設定
- ・退院に向けた指導の促進

例：老人一般病棟入院医療管理料, 寝たきり老人退院時共同指導料  
老人退院前訪問指導料, 診療所老人医療管理料, 老人特定入院基本料など

### ○老人医療の適正化の観点による評価

- ・慢性期入院医療における包括化の拡大
- ・検査、点滴注射等の包括評価の推進
- ・一般医療と異なる点数を設定

例：老人精神病棟等点滴注射料, 老人処置料, 老人留置カテーテル設置料など

### ○寝たきり老人に対する在宅医療を評価

- ・在宅ケアの推進
- ・在宅末期医療の評価の充実
- ・緊急時に迅速に対応できる体制の評価

例：寝たきり老人在宅総合診療料, 24時間連携体制加算,  
在宅老人ターミナルケア加算, 寝たきり老人訪問指導管理料など

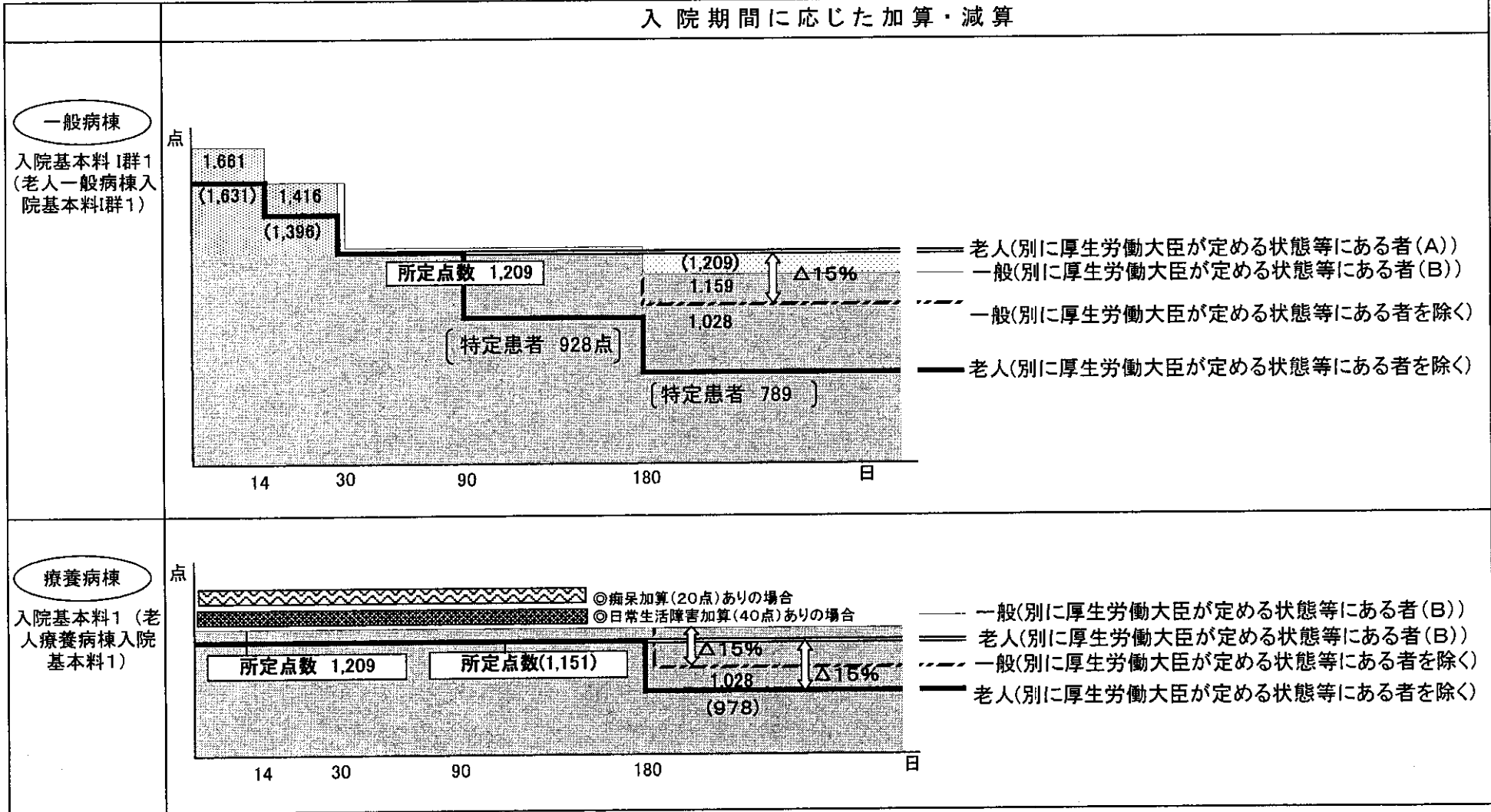
### ○老人の病態の特性を踏まえた評価

- ・痴呆に対する治療の評価
- ・日常生活の自立を重視したりハビリテーションの評価

例：重度痴呆患者デイ・ケア料, 老人性痴呆疾患治療病棟入院料  
入院生活リハビリテーション管理指導料など

# 入院に対する評価の概要

## 入院期間に応じた加算・減算



### 老人診療報酬

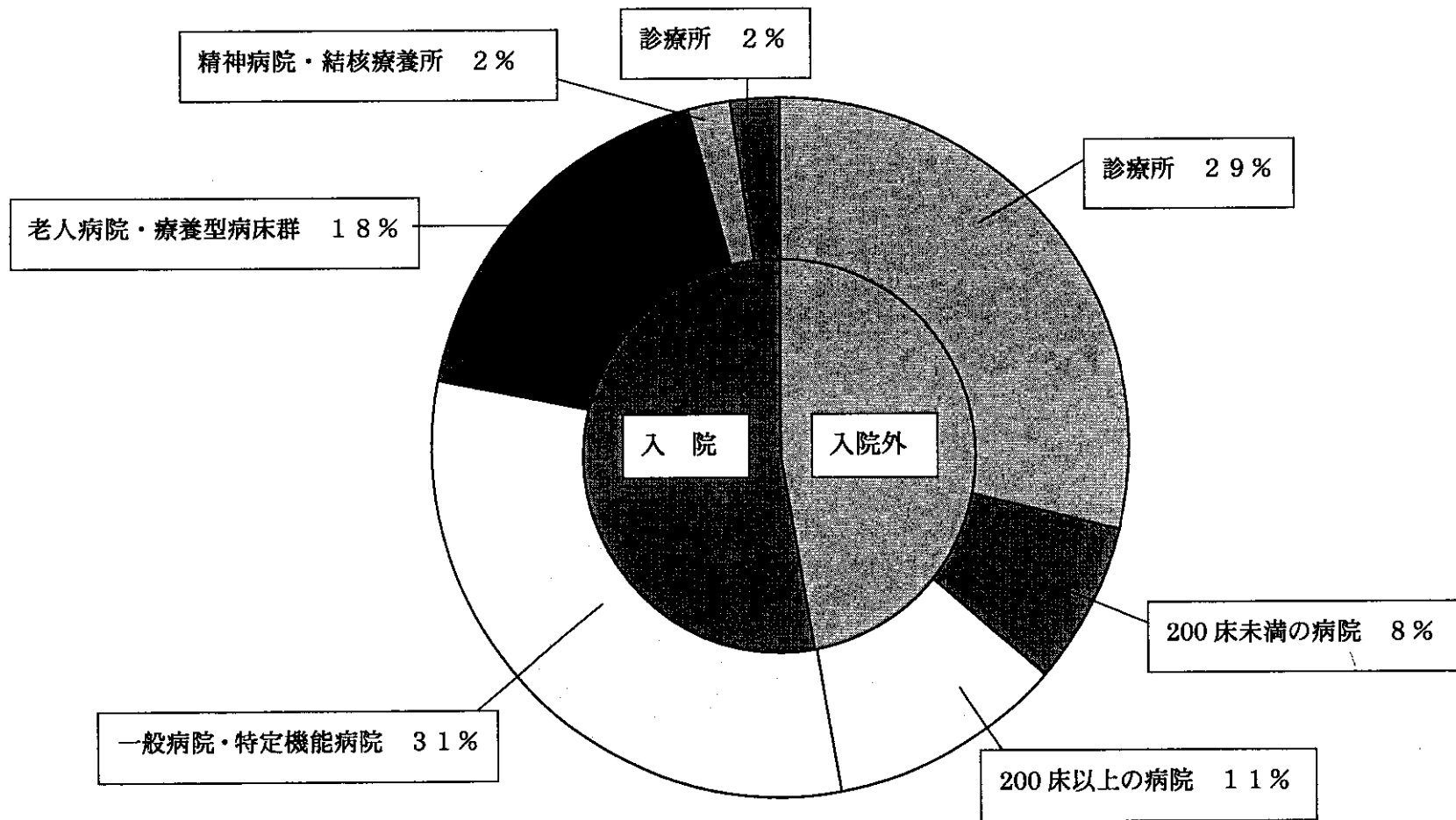
入院期間が90日超に関する (A)  
厚生労働大臣が定める状態

### 一般診療報酬・老人診療報酬

入院期間180日超に関する (B)  
厚生労働大臣が定める状態

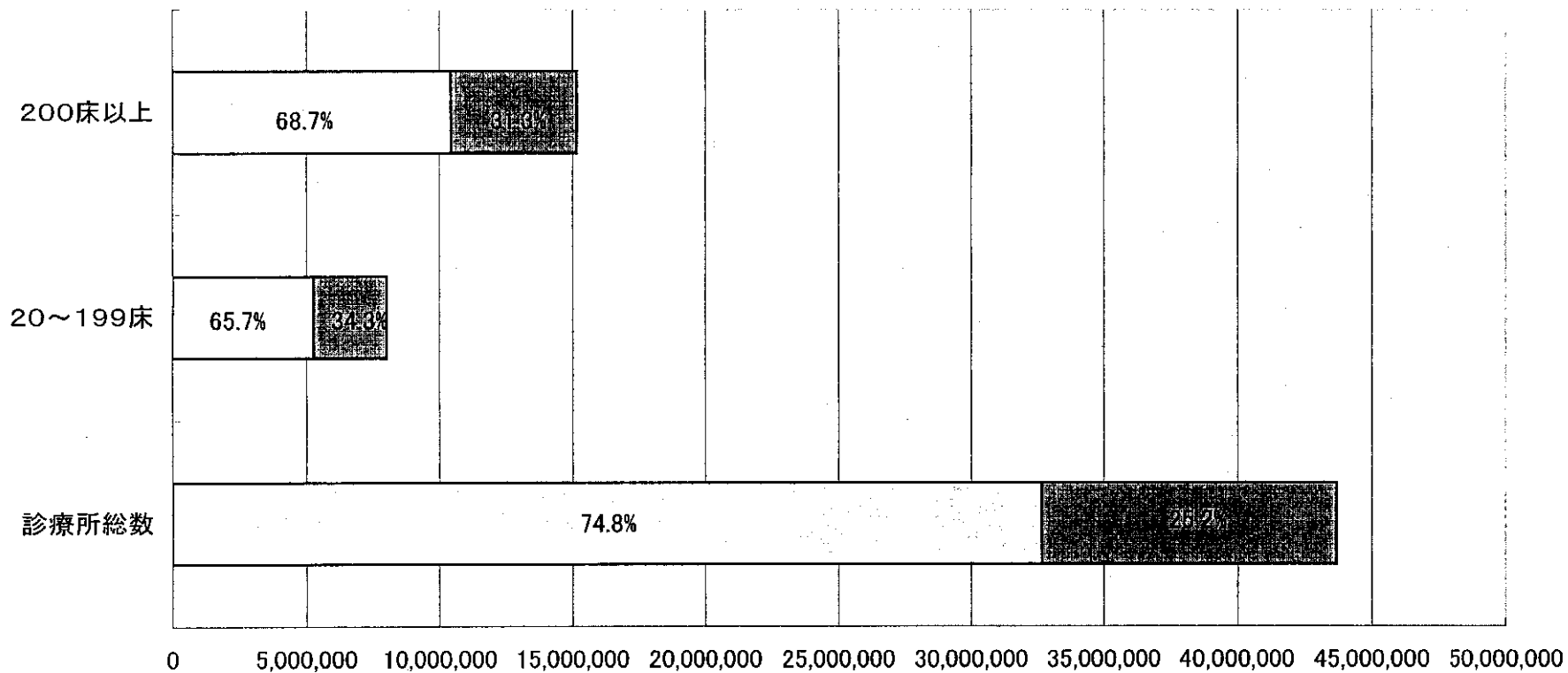
状態等	状態等
1 難病患者等入院診療加算を算定する患者	1 難病患者等入院診療加算を算定する患者
2 重症者等療養環境特別加算を算定する患者	2 重症者等療養環境特別加算を算定する患者
3 重度の肢体不自由者、脊髄損傷等の重度障害者、 重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者及び難 病患者等	3 重度の肢体不自由者、脊髄損傷等の重度障害者、 重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者、難病 患者等
4 悪性新生物に対する治療(重篤な副作用の恐れが あるもの等に限る。)を実施している状態	4 悪性新生物に対する腫瘍用薬(重篤な副作用を有 するものに限る。)を投与している状態
	5 悪性新生物に対する放射線治療を実施している 状態
5 ドレーン法若しくは胸腔又は腹腔の洗浄を実施 している状態	6 ドレーン法又は胸腔若しくは腹腔の洗浄を実施 している状態
6 人工呼吸器を使用している状態	7 人工呼吸器を使用している状態
7 人工腎臓又は血漿交換療法を実施している状態	8 人工腎臓又は血漿交換療法を実施している状態
8 全身麻酔その他これに準ずる麻酔を用いる手術 を実施し、当該疾病に係る治療を継続している状 態 (当該手術を実施した日から起算して30日までの 間に限る。)	9 全身麻酔その他これに準ずる麻酔を用いる手術 を実施し、当該疾病に係る治療を継続している状 態 (当該手術を実施した日から起算して30日までの間 に限る。)
	10 末期の悪性新生物に対する治療を実施している 状態
	11 呼吸管理を実施している状態
9 頻回に喀痰吸引を実施している状態	12 常時頻回の喀痰吸引を実施している状態
	13 肺炎等に対する治療を実施している状態
	14 集中的な循環管理が実施されている先天性心疾 患等の患者
10 老人理学療法 (I) に規定する理学療法等のう ち個別療法を実施している状態(患者の入院の日 から起算して180日までの間に限る。)	
11 観血的動脈圧測定を実施している状態	

# 老人診療報酬点数の入院(医療機関別)・入院外内訳



(平成13年社会医療診療行為別調査による)

## 外来の診療状況 (一ヶ月あたりのレセプト件数)



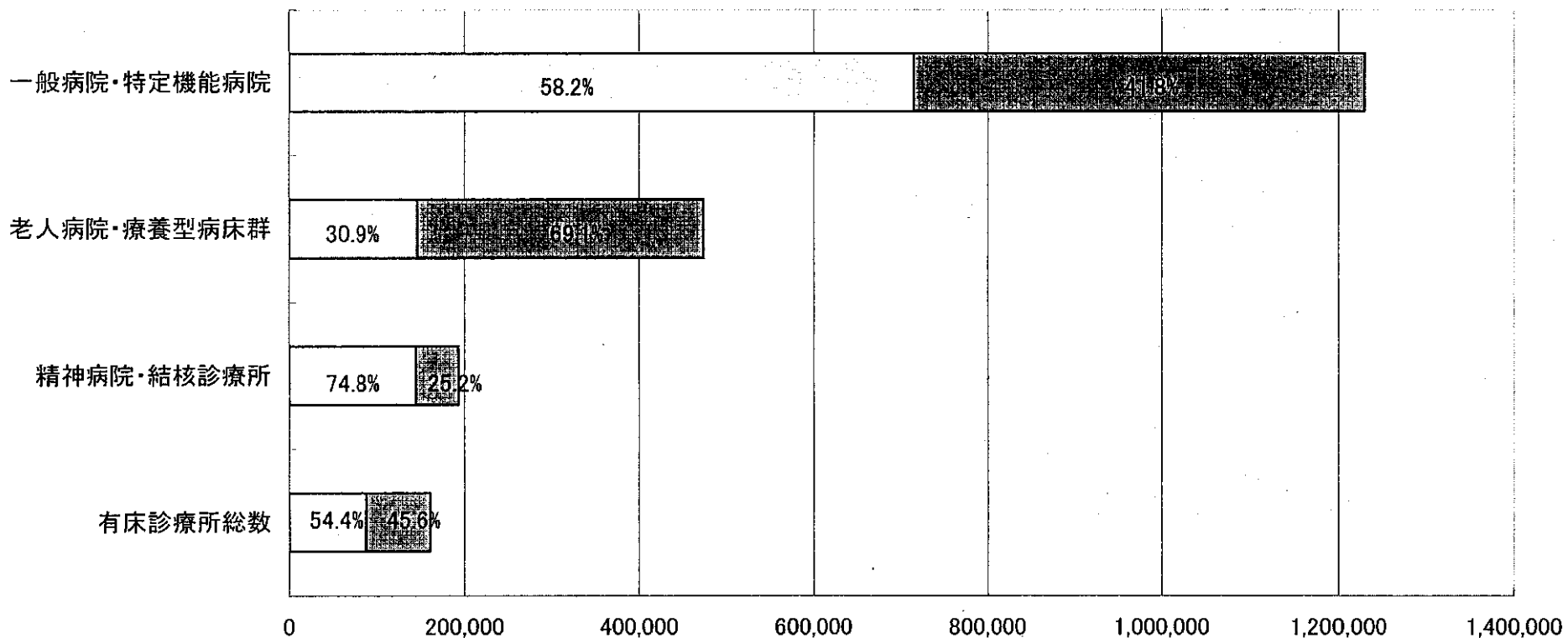
	診療所総数	20~199床	200床以上	件
□老人	11,014,251	2,755,361	4,741,537	
□一般	32,685,896	5,269,584	10,423,404	

(平成13年社会医療診療行為別調査、1月当り件数の比較)

9



## 入院施設別の老人点数算定状況 (一ヶ月あたりのレセプト件数)



⑦

	有床診療所総数	精神病院・結核診療所	老人病院・療養型病床群	一般病院・特定機能病院	件
■老人	73,731	48,948	327,895	513,485	
□一般	87,925	144,981	146,384	715,380	

(平成13年社会医療診療行為別調査、1月当り件数の比較)